ヒメマス釣獲7割減3万

今年の支笏湖過去10年で最少

【支笏湖畔】8月末で漁期が終了した支笏湖の【支笏湖畔】8月末で漁期が終了した支笏湖の3万548匹で、過去10年で最も少ないった。水温や水質に例年と特に変わったところいなく、不漁の原因は不明。もともとチップは数年ごとに豊漁と不漁を繰り返すサイクルがあり、年ごとに豊漁と不漁を繰り返すサイクルがあり、

不漁の原因不明

った一般客が釣った数の合 前年同月比8・1%減の2は漁業者と、遊漁料を支払 は低迷し、6月の釣獲数はら8月末が漁期で、釣獲数 今年は解禁当初から漁模様チップは毎年6月1日か 計。市のまとめによると、

の2 32・5%減の延べ3590 数は 遊漁船の出漁数は前年比模様 数字は伸びなかった。

が 5555匹以来の少なさとない 63年連続10万匹を超えてが 63年連続10万匹を超えてが 63年連続10万匹を超えて

かが心配だ」と話している。



た―6月1日 た―6月1日

った。市によると、不漁の の一部メニューが提供でき の一部メニューが提供でき なくなるなどの影響が出て なくなるなどの影響が出て

市観光課は「数年単位でする。支笏湖漁協は「水温からない」とする。支笏湖漁協は「水温する。支笏湖漁協は「水温する。支笏湖漁協は「水温する。支笏湖漁協は「水温する。支笏湖漁協は「水温する。大可能性がある」とする。大可能性がある」とする。大可能性がある」とする。大可能性がある」とする。た可能性がある」とする。た可能性がある」とする。た可能性がある」とする。